

## 情勢報告

さあ、これからどんどん拡げていこう！

ー環境制御技術普及推進プロジェクトチーム会の開催ー



安芸地区環境制御技術普及推進プロジェクトチーム会の様子

農業改良普及課は 6 月 10 日、振興センター会議室で第 1 回安芸地区環境制御技術普及推進プロジェクトチーム会を開催し、環境制御推進員を中心に普及指導員と J A 営農指導員 19 人が参加しました。

会では、H28 年度補助事業の進捗状況や環境制御技術の推進上の課題などについて話し合い、「日射比例灌水装置の操作研修を P T 会で開催しよう」「H26～27 事業の成果報告をキッチリと出そう」「炭酸ガス施用効果を研究会成績検討会で農家自身に発表してもらおう」といった意見や提案を検討しました。

農業改良普及課では、本年度中に 4 回のプロジェクトチーム会を計画しており、今後も関係機関と協力しながら環境制御技術導入の推進とともに技術の早期確立に向けて取り組んでいきます。

ナスフザリウム立枯病の新しい防除技術を検討中



薬剤処理中の情報交換の様子

現在、農業改良普及課と環境農業推進課、メーカーが協力し、管内で被害が拡大している難防除病害、ナスフザリウム立枯病に対する新しい防除技術を検討しています。その内容は、土壌くん蒸剤「キルパー」でのナス古株枯死の登録試験と併せて、同薬剤を使用した際のフザリウム菌の死滅状況を確認していきます。5 月に実施した予備試験は想定通りの結果となり、6 月中に対照区を設けた本試験を行う予定です。

農業改良普及課は、今後も試験の支援とともに生産者ニーズに沿った情報提供に努めていきます。

フザリウム立枯病撲滅を目指せ！ J A 土佐あき東支所ナス勉強会を開催



土づくり資材等の紹介を熱心に聞き入る生産者

6 月 8 日、J A 土佐あき東支所で、次作に向けた土づくり資材やフザリウム立枯病対策の勉強会が開催され、ナス生産者 33 人の参加がありました。

農業改良普及課は、フザリウム立枯病防除対策での罹病残さの処分方法、太陽熱土壌消毒時の土壌水分量と処理期間の確保の重要性を強調しました。また、資材業者からは各種土づくり資材等が紹介されました。参加者からは「太陽熱土壌消毒時の補水のために灌水チューブを購入したい」といった意見が出ました。

東支所管内は、市場出荷者が多いことから、新たな栽培技術等生産者が興味を持てる内容で、参加しやすい勉強会となるよう工夫し、情報共有を図って行きます。

## 情勢報告

## 中芸地区フザリウム立枯病勉強会を開催



フザリウム立枯病対策について説明する普及指導員

6月3日、安田町文化センターで、今作中芸地区でも多発しているナス科野菜のフザリウム立枯病の勉強会が開催され、33人が参加しました。

農業改良普及課は、フザリウム立枯病の症状や病原菌の生態等基礎知識と次作に向けた防除対策について講習しました。また、資材業者から各種分解促進剤や土壌消毒剤、農業用資材の洗浄剤等の特性、活用方法の説明を行いました。参加者は症状の特徴や資材の効果的な使い方について熱心に質問して、意見交換が行われました。

農業改良普及課は、今後も講習会や広報等を活用し、発病部分の持出やハウス内環境の改善など病害低減対策の徹底を周知していきます。

ポンカンの一元出荷及び光センサー選果の詳細について検討  
～東洋柑橘部会総会～



総会の様子

6月6日に東洋町の河内集会所で生産者15人と関係機関が出席し、東洋柑橘部会の総会が開催されました。

J Aからは、今作からのポンカン一元出荷及び光センサー選果出荷についての案が示されました。

農業改良普及課は、H25～27年産の出荷果実の個別分析データをもとに光センサー選果基準の作成について助言をしました。市場担当者からは、産地の新たな取り組みへの期待と販売での協力体制が示されました。出席者からは多くの質問や意見が出され、活発な議論となり、有意義な総会となりました。

今後は、今回出された意見を踏まえて、部会代表者とJ A、農業改良普及課で選果基準等についてさらに検討していきます。

## J A土佐あき柚子部北川支部が勉強会を開催



勉強会の様子

6月7日、J A土佐あき柚子部北川支部で、梅雨期から夏期にかけての防除や栽培管理等についての勉強会が開催され、生産者23人が参加しました。

農業改良普及課は、黒点病の防除や、ユズの生理生態に基づいた肥培管理等の栽培管理について講習しました。参加者は、果実の品質向上、隔年結果の防止に向けて、熱心に説明を聞いていました。

農業改良普及課は、今後も講習会等を活用し、果実の品質向上、安定生産に向けた栽培管理を指導していきます。

## 情勢報告

## 平成 28 年度第 1 回中芸・芸東地域集落営農塾（組織化）を開催！



意見交換会の様子

6月15日、農業改良普及課は、JA土佐あき奈半利支所で東部地域での集落営農の組織化を進めるため、集落営農塾（組織化）を開催しました。農業者、関係機関で合計25人の出席がありました。

農業改良普及課は、集落営農の必要性等の説明と、県内外の先進地の取組事例を紹介しました。

その後、グループに分かれて地域の課題や今後の解決策を話し合いました。参加者からは、「5～10年先は集落に農業者がいなくなる」「まずは集落の実態を正確に把握することが必要」といった意見が出される等、有意義な意見交換ができました。

農業改良普及課は、今回出された意見も踏まえて、各地域で集落営農の組織化に向けた話し合いが進んでいくよう、関係機関と連携して支援していきます。

## 就農促進に向けて田野町の関係機関が協議



就農支援の年間目標と活動計画を確認

6月13日、田野町農業関係機関の連絡会で、就農支援について話し合いました。就農支援の実務担当者で構成する田野町就農支援チームで事前に検討した内容をもとに、年間目標と活動計画を確認しました。さらに、中芸地区における研修後の就農実践用ハウスの導入に向けて検討しました。

農業改良普及課からは、継続して研修生を確保するために、就農相談会や担い手育成センターへ産地提案書を用いて積極的に募集活動を行うことを提案し、今後、町を主体に検討していくことになりました。

## 安芸市の岡宗農園（メリーガーデン）で6次産業化支援チーム会を開催

アフタヌーンティーセットの  
販売会議の様子

6月10日、安芸市川北にあるトロピカルフルーツが味わえるカフェ「メリーガーデン」で6次産業化支援チーム会を開催しました。メリーガーデンから3人の参加があり、昨年の農業創造セミナーで提案された「アフタヌーンティーセット」の販売方法や果実の加工について検討しました。

アドバイザーから高知新聞の別冊紙を活用した試食会の提案があり、今後内容を企画立案することになりました。

メリーガーデンからは「店の認知度やアフタヌーンセットへの消費者の意見を聞きたい」と、試食会への意気込みを感じました。

農業改良普及課では、今後もメリーガーデンの認知度向上やカフェメニューの磨き上げ、加工品の販売等を支援します。